

8

※アソケートの設問3より抜粋)

わたしがこの仕事をしています  
とてもしあわせな気持ちになるとき

いっのまにか、友だちにやさしくしている  
小さな仲間関係をみつけたとき

トイでおしっこができて  
「でた～！」とよるこび合ったとき

クラスに行くとうれしそうに  
かけよってきてくれたとき

たどたどしい言葉で「センセ」と  
呼んでくれるようになったとき

入園して泣いてばかりだったあの子が、  
目が合うとニコッと笑ってくれたとき

\*\*\*しあわせなとき\*\*\*

おわりに

7

Point5

気持ちの良い言葉のシャワーを  
たくさん経験させましょう

気持ちの良い話しかけとは・・・

①子どもの方を向いて  
②しっかりと耳を傾け  
③普段よりゆっくりリズミ  
④同じ言葉を繰り返す

①声のトーンは少し高め  
②抑揚をつけて  
③普段よりゆっくりリズミ  
④同じ言葉を繰り返す

優しく話しかける『マザーリース』  
「指さし行動」が始まります。子どもが  
指を使って人や物や動物などを指し示す  
楽しみようになっています。

「指さし行動」が始まります。子どもが  
今注目していることに共感し、一緒に  
楽しむようにしましょう。

あつあつ  
飛んでるね

12か月頃～ 「これなに？」と問いかけるような  
自分からの発信が「わかってもらえた」と  
指さしには、積極的に応答しましょう。

積極的なコミュニケーション  
この経験は、積極的なコミュニケーション  
への第一歩となります。

わかってもらえた！  
ぼく（わたし）の質問  
なにに？  
これ

子どもは身近な人の話しを聞く事によって、音声や  
単語や文法、さらにコミュニケーションの取り方を  
学んでいきます。

はじめに

保育の仕事の中で、子どもとのコミュニケーションを  
大切に思わない人はいないでしょう。子どもと気持ちが  
通じ合って温かい気持ちになったり、成長と共に身近な  
大人や友達とのやり取りを深めていく姿に感動を感じる  
経験がきっとあるのではないのでしょうか。

しかし、そうした子どものコミュニケーション能力は  
自然に身につくものではありません。身近な大人が常に  
生活や遊びの場面で、必要な言葉を添え、意思表示に十分に  
応え、温かい充実した関係を築いていくことが必要です。そ  
うした経験を通じて、子どもは言葉に出会い、感じる  
心を養い、コミュニケーション能力を高めていきます。

この「実践のポイント」が、各園で子どものコミュニ  
ケーションについて考えて頂く一助となれば幸いです。

2

Point1

泣いている時は、原因・理由を  
しっかり受けとめてあげましょう

赤ちゃんにとって泣く事は唯一のコミュニケーションの手段

赤ちゃんはなぜ泣いているの？  
気持ちを汲んで寄り添っていますか？

お腹がすいた 眠い おむつが濡れた  
暑い・寒い 痛い・かゆい 音がうるさい  
まぶしい 熱がある・体調が悪い お腹が張って苦しい  
抱っこして欲しい 退屈・寂しい など

原因・理由は？

笑顔で  
優しい言葉掛け  
スキンシップ

寂しかったのね。  
抱っこしようね～

\*応答的な関わりは、保育士への信頼感を高めるだけで  
なく、自分の気持ちや要求を積極的に表現しようと  
する意欲につながっていきます。

3

Point2

喃語にも言葉かけを、時には  
積極的に、くりかえし応えてあげましょう

大人の言葉かけで発声行動がより活発に

喃語は、赤ちゃん自身が声を出して楽しんでいるだけ？

1,2か月頃～ アー、ウーなどの、クーイングが始まります  
6か月頃～ パパ、マンマン（反復性の喃語）  
9か月頃～ アーブー、アーバーブー（非反復性の喃語）  
10か月頃～ 言葉（音）の模倣が始まります  
(※上記の時期には個人差があります)

一人で機嫌良く遊んでるわ～  
放っておいても大丈夫ね。。。  
いつもこれでいいの？

あ～あ～

〇〇ちゃん、  
お話ししてるの？  
たのしいね～

\*赤ちゃんなりに周りの反応を意識しており、言葉かけ  
によって発声行動が一層活発になります。

4

9

Point4

指さし行動には積極的に言葉を  
添え、応答してあげましょう

指さし行動の始まり  
言葉以前のコミュニケーション行動の始まり

8,9か月頃～ 指を使って人や物や動物などを指し示す  
「指さし行動」が始まります。子どもが  
今注目していることに共感し、一緒に  
楽しむようにしましょう。

あつあつ  
飛んでるね

12か月頃～ 「これなに？」と問いかけるような  
自分からの発信が「わかってもらえた」と  
指さしには、積極的に応答しましょう。

積極的なコミュニケーション  
この経験は、積極的なコミュニケーション  
への第一歩となります。

わかってもらえた！  
ぼく（わたし）の質問  
なにに？  
これ

子どもは身近な人の話しを聞く事によって、音声や  
単語や文法、さらにコミュニケーションの取り方を  
学んでいきます。

Point3

笑顔は大切です  
表情豊かに話しかけましょう

保育士の反応で笑うことの意味を学習

1か月半頃～ 目が合った時に微笑みます  
6か月頃～ 笑顔と怒りの顔とを区別して反応します  
7,8か月頃～ 表情の理解が進みます  
9か月頃～ 他者の意図が推測できるようになります

\*保育士の笑顔は、愛着、基本的信頼感の形成と深く  
関わっています。  
\*自己表現をしようとする乳児の意欲を高めることにも  
つながります。

5

「よこあそび」  
「あそび」

- ① まずは「乳幼児の非言語的コミュニケーション」にしっかりと目を向けましょう
- ② 良いモデルになる保育士の言葉かけや働きかけを見てみましょう
- ③ みんなで、言葉かけや働きかけのロールプレイをやってみましょう
- ④ 実際に声を出して「ブザー」の練習をしてみよう
- ⑤ 他にも自園で出来ることを考えてみましょう

～保育士としての力量を高めるために～

～学びのポイント～

乳幼児のコミュニケーション能力を育むために

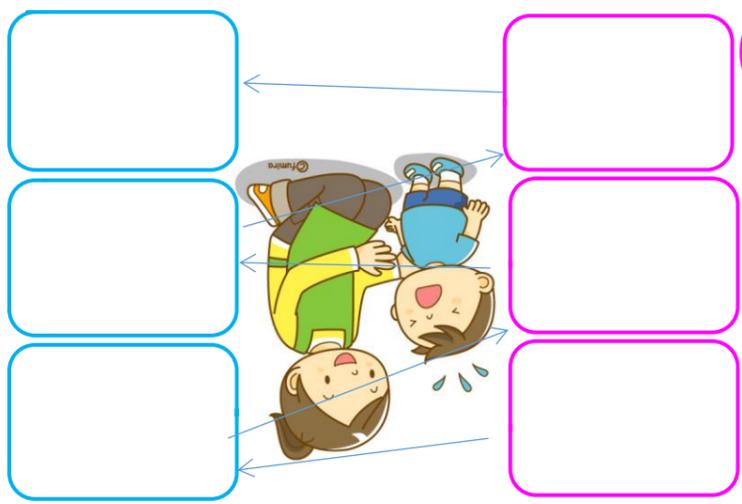
①赤ちゃんが、安心した表情でミルクを飲んでますね。どのような言葉かけや働きかけをしているのでしょうか？

②食べさせてもらう時期。。。どのような言葉かけや働きかけをしますか？

③自分で食べようとする時期。。。どのような言葉かけや働きかけをしますか？

④おむつ替えをしてもらって、気持ちよさそうな表情ですね。どのような言葉かけや働きかけをしますか？

- 1.笑顔で子どもに接しましたか
- 2.子どもの様々な思いを受け止め寄り添えましたか
- 3.やさしく丁寧な言葉かけをしましたか
- 4.温かい眼差しで子どもを見つめましたか
- 5.子どもの声や指さしに積極的に応答しましたか
- 6.心がつながるようなスキンシップをとりましたか
- 7.明日もこの子達に会いたいなあと思いますか



⑥2歳になったばかりのAちゃん。自分で出来る事も増えてきた頃、今日はイヤイヤと泣いています。食事・排泄・着替え・お片付けなど、場面を想定してやりとりしてみよう。